



佛説大乘聖吉祥持世陀羅尼經 1 卷

1帖 折本 大きき29.8×11.0cm 紺色古表紙 全6紙 (1紙約29.8×66.0cm) 字数1紙36行17字 小字双行 每半折6行 上下单辺 柱刻「将 大乘聖吉祥持世陀羅尼 (板数) 刻工名」 刻工名「老」「才」「吳浦」「明」「先」など 印造記「陳全造」(墨長方形) 藏書印記「家在/六甲/山下」(方形陰刻朱印)

宋刊本。1板1紙で印刷されている。版式や、字様等から、開元寺版大藏經の内の1巻と推定される。掲出部分は『佛説大乘聖吉祥持世陀羅尼經』の卷頭と卷末。

開元寺版大藏經は、民間の僧俗の施財によって、福州開元寺において開版された大藏經。北宋政和2年(1112)から南宋紹興21年(1151)頃にかけて6117巻が刊行され、元代まで追雕・補刻が行われたといわれている。宋代の一切經には他に、開元寺版と同地方で開版され、版式がよく似ている東禪寺版大藏經、また、浙江省湖州で開版され、わが国に多く将来された思溪版大藏經などがある。

この刊經は、幸田成友(1873-1954)の旧藏書で、昭和14年(1939)に帝國図書館が、実業家亀田候吉の資金により購入したものである。

〈請求記号 WA3-28〉